

1. <施策の概要>

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	事業部 監理課
基本方針	公営住宅		
施策名	公営住宅	関連課	住民部 人権啓発課
方針・目標等	◆低廉で良質な町営住宅の提供。		
実施内容	◆老朽化施設の維持修繕。		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 町営住宅使用料徴収率	%	本津川市	94.0	23	徴収額/家賃額		
②	町営住宅入居率	%	本津川市	92.83	23	入居戸数/住宅戸数(152戸)		
③	町営住宅風呂設置率	%	本津川市	41.93	23	風呂設置数/住宅戸数		
④								
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		-	-	92.0	92.0	92.5	93.0
	実績		89.9	91.6	91.7	92.0		
②	目標		-	-	95.39	96.05	96.68	97.35
	実績		97.38	95.39	94.74	96.03		
③	目標		-	-	80.13	98.68	99.34	99.34
	実績		60.13	67.76	80.13	99.34		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・町営住宅の入居率は、昨年度より上昇したが、まだ6戸の空家がある。東日本大震災の被災者用住宅等を除き、有効活用を図る必要があることから早期に空家改修を実施し入居募集を行う。
 ・住宅使用料の徴収率は、わずかながら年々向上し今年度末現在で92%の結果となった。引き続き夜間徴収など徴収努力を行う。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・他の団体と比較すると、住宅使用料の徴収率が幾分低いことから、徴収業務の強化するとともに銀行口座等の自動払込利用の促進が必要である。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 /事業名 /種別/決算書説明頁	事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	○ 監理課	-	24,855	22,287	36,665	38,086	37,480
	町営住宅維持管理事業	15,661	13,691	13,193	24,185	25,606	25,000
	一般事業 203	-	0	0	3,459	4,222	25,000
2	監理課	-	17,272	20,188	28,084	-	12,406
	町営住宅計画修繕事業	14,251	10,543	13,806	20,678	-	5,000
	投資的事業 205	-	10,543	13,806	20,678	-	5,000
3	監理課	-	2,332	2,248	2,801	2,809	2,822
	京都府住宅新築資金等貸付事業	171	177	174	79	87	100
	一般事業 205	-	0	0	0	0	100
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・町営住宅の住環境整備や修繕要望に対応した結果、住環境の保全や住宅の機能維持が図られた。老朽化する住戸の長寿命化を図るため、継続した取り組みが必要である。
- ・計画的修繕事業については、平成21年度より町営住宅の浴室の設置を進め、平成23年度に完了した。

5. <施策の今後の方向性>

- ・住宅の適正な維持管理のため、必要な機能維持及び改善のため継続して取り組む。
- ・計画的に住宅の修繕を行い、住環境の整備に努める。
- ・住宅使用料の徴収向上のため、引続き夜間徴収などの徴収努力を行う。